

メディアコーディネーター(MC)週間 実施報告(3学期) ~授業の一部を紹介~

本年度、市内全校で実施される

ICT活用の意義は? 先生方はこの問いを持ちながら授業に臨んでくださいました

東光寺小学校

友達を考えやまとめた内容を知ることを通して、一人一人がさらに深く学び考える... ICT活用の利点を生かした「主体的・対話的で深い学び」への挑戦授業をたくさん見せていただきました。先生方、熱心に取り組んでいただき、本当にありがとうございました!

『スタディネット(エクスチェンジボード)』

- ★3-1 下谷明希子先生 <道徳・「やくそくだもん」>
- ★3-3 藤谷朱美先生 <道徳・「お礼の手紙」>
- ★4-2 峰尾恭子先生 <道徳・「お礼の手紙」>
- ★5-1 奥山良太先生 <道徳・「心の管理人」>
- ★5-2 草刈沙原先生 <道徳・「心の管理人」>

先生から児童に課題が出され、児童は課題の回答や考えをそれぞれタブレットPCに書き込んで送信。一人一人の考えを前のスクリーンの一覧で共有したり、全員の考えを各自の手元のタブレットPCへ送ってじっくり読ませたりしました。友達がどう考えているかを知ること、各自がさらに考えを深めていけたと思います。

各児童が書いた内容は自動的に記録され、印刷が可能です。

スタディネットの共有画面(一部)

記録は、先生や子供たち自身の評価や授業の振り返りなどにとっても有効です。

写真撮影+『スタディネット(エクスチェンジボード)』

- ★4-1 和智壮途先生 <理科・ものあたままり方>
- 「水はあたため続けるとどうなるか」というテーマで実験を行い、グループごとに水の変化の様子をタブレットPCで撮影。(理科室)
- 次の時間に、撮影した写真を参照しながら実験の様子を再確認。温める時間と温度のグラフを各自描いてスタディネットで共有。その後、以降の学習の予告の意味で「あわの正体は何か?」という問いに対して児童の考えを書かせ、みんなで見合いました。

スタディネットの共有画面(一部)

『スタディノート(データベース)』

- ★3-2 山極潮先生 <国語・ことわざ>
- 児童はことわざの意味をインターネットや辞典などで調べて「ノート」を作成。何で調べたかの出典も明記。
- その後、あらかじめ先生が作られていた「データベース」上で分類、共有しました。データベース上のノートはダブルクリックすることで誰でも見ることができます。

児童が作成したことわざノートの例

ことわざデータベース画面(一部)

『スタディノート(掲示板)』

- ★6-1 細島由美子先生 <総合・平和について>
 - ★6-2 渋谷崇伸先生 <総合・平和について>
- 児童は「Word」で平和に関する新聞を作成。その後、友達が作成した新聞を読んで気付いた点や考えたことなどを「掲示板」を活用して互いに書き合いました。「Re:OO」が友達の新聞へのコメントで、誰でも自由に読むことができます。

掲示板の画面(一部)

児童が友達の新聞を読んで書いたコメント例

『デジピクチャーキッズ2』<生活科カレンダー作成>

- ★1-1 門田幸江先生
- ★1-2 大野浩志先生
- ★1-3 小林衣里先生
- ★2-1 関田三千代先生
- ★2-2 志村友里先生

指でのお絵かきやスタンプなどの使い方の説明を受けた後、児童はそれぞれに絵を描きました。自分の描いた絵にスタンプを組み合わせ合わせて仕上げた絵がカレンダーとして印刷されてくると、みんな喜びの歓声を上げていました。

